

令和（ 5 ）年度 教科（ 国語 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養い、自らの考えを適切に伝え合おうとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・書写作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ワークシート（記述） ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・提出物の工夫 ・国語ノート ・行動観察 	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数） （単元の主要な教材を示しています）	時数	他教科等との関連	
1	4	1 深まる学びへ	世界はうつくしいと握手	1	理科	
	5	2 視野を広げて	学びて時に之を習ふ	12		
	6		作られた「物語」を超えて／説得力のある構成を考えよう【話聞】	11		
	7	3 言葉とともに	書写（硬筆・毛筆）	3		
8	俳句の可能性／俳句を味わう		6			
2	9	4 状況の中で	挨拶／故郷	9		道徳（平和）
	10	5 自らの考えを	聞き上手になろう【話聞】	7		
	11		論理の展開を整える【書】	13		
	12		人工知能との未来／人間と人工知能と創造性	7		
3	1	6 いにしえの心を受け継ぐ	多角的に分析して書こう【書】	4	社会 技術・家庭科	
	2		合意形成に向けて話し合おう【話聞】	6		
	3	月夜の浜辺	9			
	3	和歌の世界／君待つと／夏草	3			
通年	1	7 価値を生み出す	書写（硬筆・毛筆）	7	数学	
	2	8 未来へ向かって	誰かの代わりに	4		
3	情報を読み取って文章を書こう【書】		6			
3	温かいスープ／わたしを束ねないで	9				
3	三年間の歩みを振り返ろう【話聞・書】	9				
3	書写（硬筆・毛筆）	3				
通年		言葉／漢字／文法	漢字1・2・3 文法への扉1・2・3	14		
通年			言葉1・2・3			
総時数	105 時間					

令和（ 5 ）年度 教科（ 社会 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する

【教科のゴールイメージ】（つけたい力、資質・能力）

主体的に学び、自分の意見を根拠を明確にして、説明できる力

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト・小テスト)	定期テスト (定期テスト・小テスト) 行動観察 (発言内容) ワークシート (まとめ内容)	単元レポート 行動観察 (発言 発言内容) ワークシート (記述内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	歴史的分野 6章 二度の世界大戦と日本	○第一次世界大戦(8) ○大正デモクラシー(5)	27	道徳 国語
	5		○世界恐慌(7) ○第二次世界大戦(7)	14	
	6	7章 現代の日本と私たち	○戦後日本(4) ○冷戦(6) ○新たな時代(4)		15
	7	公民的分野	○現代社会(5) ○私たちの生活(4)		
2	8	1章 現代社会と私たち	○現代社会(6)	16 23 25 20	道徳 家庭 道徳 家庭 保健体育
	9	2章 個人の尊重と日本国憲法	○人権(5) ○共生(6) ○人権保障(5)		
	10	3章 現代の民主政治と社会	○民主政治(7) ○国の政治(10)		
	11	4章 私たちの暮らしと経済	○地方自治(6) ○消費生活(6) ○生産(6) ○市場経済(6)		
3	12	5章 地球社会と私たち 終章 より良い社会を目指して	○財政(4) これからの経済(3)	20	理科 家庭科
	2		○国際社会(6) ○国際問題(6)		
	3		○これからの地球者会(3) ○まとめ(5)		
総時数	時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 数学 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

事象を数学的に捉え考察することができ、数学的な根拠を明確にししながら自らの考えを説明できる力をつける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト)	行動観察 (発言、記述、行動内容) 課題への取り組み方	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	式の計算	○多項式の計算(7)	20	理科
	5		○因数分解(7) ○式の利用(6)		
	6	平方根	○平方根(6) ○根号を含む式の計算(13)	19	理科、技術
	7		○2次方程式の解き方(10) ○2次方程式の利用(10)		
2	8	関数 $y=ax^2$ 相似な図形 円 三平方の定理	○関数 $y=ax^2$ (14) いろいろな関数(5)	19	理科
	10		○相似な図形(9) ○平行線と相似(5) ○相似と計量(7)	21	美術
	11		○円周角と中心角(6) ○円周角の定理の利用(5)	11	美術
	12		○三平方の定理(6) ○三平方の定理の利用(7)	13	
3	1	標本調査	○標本調査(4)	4	理科
	2	3年間の復習	○3年間の復習(13)	13	
	3				
総時数	140時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 理科 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	定期テスト その他の項目 受験対策理科（定着）ノート 実験個人レポート ファイル（配付プリント） 授業中の行動観察 パフォーマンステスト 実力テスト（参考）	定期テスト その他の項目 受験対策理科（定着）ノート 実験個人レポート ファイル（配付プリント） 授業中の行動観察 パフォーマンステスト 実力テスト（参考）	定期テスト その他の項目 自主学習ノート 受験対策理科（定着）ノート 実験個人レポート ファイル（配付プリント） 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	(5) 生命の連続性	ア 生物の成長と殖え方 (5) イ 遺伝の規則性と遺伝子 (10) ウ 生物の種類の多様性と進化 (5)	20	数学科 保健体育科 家庭科
	5	(5) 運動とエネルギー	ア 力のつり合いと合成・分解 (10) イ 運動の規則性 (10) ウ 力学的エネルギー (10)	30	数学科 技術科
	6				
	7	(7) 科学技術と人間	ア エネルギーと物質 (5) イ 自然環境の保全と科学技術の利用 (5)	10	数学科 技術・家庭科
8	(7) 自然と人間	ア 生物と環境 (5) イ 自然環境の保全と科学技術の利用 (5)	10	数学科 社会科	
2	9	(6) 化学変化とイオン	ア 水溶液とイオン (20) イ 化学変化と電池 (20)	40	数学科 技術・家庭科
	10				
3	11	(6) 地球と宇宙	ア 天体の動きと地球の自転・公転 (20) イ 太陽系と恒星 (10)	30	数学科 社会科
	12				
	1				
2					
3					
総時数	140時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 音楽 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

音楽活動を主体的・協働的に楽しみながら音楽に関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身に付け、音楽に親しみ、生活を豊かなものにしようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	音楽の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、学習を調整しながら学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 定期テスト	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 鑑賞レポート（記述内容） ワークシート 定期テスト	振り返りシート ワークシート 感想文 授業中の学習の様子 定期テスト レポート（記述内容）	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	・心の歌 曲の形式と構成	・歌唱「花」 鑑賞～滝廉太郎の世界～	4	国語
	5	・アンサンブルの楽しみ	・リコーダー2重奏「イエスタデイ」	3	理科（音）
	6	・ポピュラー音楽	・ビートルズ等 ロックやジャズの鑑賞	4	社会（歴史・地理）
	7	・オーケストラの響き	・ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」	3	社会（地理・歴史）
2	8				
	9	・合唱の喜び	・混声3部合唱「春に」「手紙」	5	国語・道徳
	10	・オーケストラの響き	・スメタナ作曲 交響詩「ブルタバ」	4	社会（地理・歴史）
3	11	・日本の伝統音楽	・＜雅楽＞管絃「越天楽」舞楽「陵王」	3	社会（歴史）・美術
	12	・日本の伝統音楽	・能「羽衣」	3	社会（歴史）・美術
	1	・日本の歌・心の歌	・「早春賦」「花の街」など日本の歌曲	3	国語
	2	・合唱の喜び	・「手紙」「旅立ちの日に」	3	国語・道徳
3					
総時数	35 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 美術 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】

造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	ゲルニカ, 明日への願い	作者の意図や工夫を感じ取る	2	道徳 社会
	5	みんなのためのデザイン	機能と美しさの調和について	2	
		絵巻物と漫画の表現	現代の漫画に通じる表現	1	
	6	季節感のある暮らしを楽しむ	自然を形や色を工夫して表現	8	
	7	写真や映像を撮影する	映像をイメージし、表現方法を工夫	3	
2	8				
	9	風景に思いを重ねて	作品に思いを重ねる表現の工夫	2	国語
	10	思い出を形に	思い出の場面やその時の気持ちを表す	8	
11					
3	12	今の自分, これからの自分	自分を見つめ、詩画を描く	6	
	1				道徳 社会
	2	心安らぐ場をつくる	デザインが社会に果たす役割	2	
3	美術の力	美術の力や働きについて	1		
総時数	35 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（保健体育）第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

主体的にスポーツや自分の健康に関心を持ち、生涯にわたって、健康に関心を持ちスポーツができる人になる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（協働性、コミュニケーション能力、表現活動） ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（協働性、コミュニケーション能力、表現活動） ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（発言、道具準備） ・実技テスト 	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	体づくり運動	体ほぐしの運動、体力を高めるための運動	14	
	5	陸上競技	短距離、リレー、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び	8	
	6	ダンス	フォークダンス	5	
	7	水泳	クロール、平泳ぎ	8	
2	8				
	9	武道	柔道	10	
	10	球技 ベースボール型	ソフトボール	12	
	11	球技 ゴール型	サッカー	9	
3	12				
	1	陸上競技	持久走	10	
	2	球技 ネット型	バドミントン	10	
通年		体育理論	文化としてのスポーツ	3	
		保健	健康な生活と病気の予防③，健康と環境	16	
総時数	時間	105 時間			

令和（ 5 ）年度 教科（技術・家庭科（技術分野））第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上
評価方法	実習レポート（記述内容） 学習ノート（記述内容） ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト） 行動観察（実習）、作品	ペーパーテスト（定期テスト） 実習レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価表（記述内容） 作品	振り返りシート 実習レポート（記述内容） 学習ノート（記述内容） ワークシート（記述内容） 行動観察（発言、記述、行動内容）	4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	【Cエネルギー変換の技術】	問題の発見と課題の設定（1）	6	理科
	5	エネルギー変換の技術による問題の解決	設計・制作・評価・改善（5）		
2	6	社会の発展とエネルギー変換の技術	これからのエネルギー変換の技術（2）	2	理科 社会
	7		問題解決の流れ（2）	7	
	8		問題の発見と課題の設定（1）		
3	9	【D情報の技術】	設計・制作・評価・改善（4）	2	社会
	10	計測・制御による問題の解決	これからの情報の技術（2）		
3	11	社会の発展と情報の技術	学習のまとめ（1）	1	
	12				
3	1	学習のまとめ			
3	2				
3	3				
総時数	18時間				

令和（５）年度 教科（技術・家庭科（家庭分野））第（ ３ ） 学年年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

自立と共生を目指し、生活の中の問題に向き合って、課題を見つけ、解決する力を身に付けることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	活動状況（実習） ワークシート（記述内容） 作品 実技テスト 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 振り返りシート（記述内容） 作品 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価カード（記述内容） 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	私身近な消費生活と環境			
	5	私たちの消費生活	消費者トラブル（3）	3	社会
	6	たちの成長と家族・地域			
	7	家族・家庭と地域	私たちの生活と家族（1）	1	道徳
2	8	幼児の生活と家族	幼いころを振り返ってみよう（1）	1	保健体育
	9		幼児の体の発達（1）	1	
	10		幼児の心の発達（2）	2	
	11		幼児の生活習慣の習得（1）	1	
3	12		幼児の生活と遊び（1）	1	社会 道徳
	1	これからの家族と地域	幼児との関り方の工夫（3）	3	
	2		こどもにとっての家族（1）	1	
	3		家族との関り（1）	1	
			家族や地域の高齢者との関わり（2）	2	
	地域での協働を目指して（1）		1		
総時数	18 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 外国語 ） 第（ 3 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) パフォーマンステスト (記述や発話内容)	ペーパーテスト (定期テスト) パフォーマンステスト (記述や発話内容)	活動への取り組み (活動観察、振り返り記述内容) パフォーマンステスト (活動観察) 音読チェック (活動内容) 提出物 (記述内容)	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度 (%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合 (%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容 (時数)	時数	他教科等との関連
1	4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	○行ったことのある国などについて伝え合う	12	社会
	5	Unit 1 Sports for Everyone	○自分の経験について、伝えたりたずねたりする。	15	
	6	Unit 2 Haiku in English	○好きなことや取り組んできたことを伝えたり、たずねたりする。	15	
	7	Unit 3 Animals on the Red List	○自分の意見や考えを伝えたり、たずねたりする。	15	
2	8	Let's Read 1 A Mother's Lullaby	○物語を読み、状況や人物の心情を読み取る。	12	理科
	9	Unit 4 Be Prepared and Work Together	○標識などが何を伝えているのか説明する。	15	国語
	10	Unit 5 A Legacy for Peace	○人やものについて詳しい情報を加えて説明する。	16	理科
	11	Unit 6 Beyond Borders	○架空の状況を説明したり、意見や感想を伝える。	16	社会
3	12				
	1	Let's Read 2 Power Your Future	○説明文を読んで概要を理解し、自分の意見を伝える。	12	理科
	2	Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	○スピーチを読んで、内容の要点を理解し、自分の意見を伝える。	12	
3					
総時数	140 時間				